



2023年1月13日

各位

会社名 株式会社リベルタ
代表者名 代表取締役社長 佐藤 透
(コード番号 4935 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役 二田 俊作
(TEL. 03-5489-7661)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年1月13日開催の取締役会において、以下のとおり最近の業績の動向等を踏まえ2022年8月9日に公表した2022年12月期の業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想について

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,268	百万円 326	百万円 300	百万円 161	円 銭 54.39
今回修正予想(B)	6,630	155	190	90	30.29
増減額(B-A)	△ 638	△ 170	△ 109	△ 71	
増減率(%)	△ 8.8	△ 52.3	△ 36.6	△ 44.3	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,029	251	266	200	68.37

2. 修正の理由

2022年12月期通期連結業績予想の修正理由

売上高の主な修正理由は、海外販路(特に米国)において、コスメ(ピーリングフットケア)ジャンルが欧米における急激なインフレによる消費活動の鈍化や金利上昇に伴い大手小売り法人の在庫圧縮を図る動きが顕著となり仕入抑制傾向となったことにより受注が大幅に減少し、予想を313百万円下回る見込みとなったこと、国内販路においては、2022年4月に連結対象となりましたファミリー・サービス・エイコー株式会社の取り扱う浄水器・医療機器および生活雑貨は予想を超える売上となる見込みとなりましたが、今期の重要戦略として主力ブランドの再活性化を図るべく広告投下をおこなった主力ブランドが計画を上回る結果とならなかったことから294百万円予想を下回る見込みとなりました。これらにより6,630百万円(前回発表予想比638百万円減)となる見込みとなりました。

営業利益については、売上高が予想を下回る見込みとなった影響により売上総利益が下振れしたことから、155百万円(前回発表予想比170百万円減)となる見込みとなりました。

経常利益については、想定を超える円安の進行による為替差益などの発生により 190 百万円(前回発表予想比 109 百万円減)となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、2022 年 4 月 1 日に 86.8%の議決権比率を得て連結子会社といたしましたファミリー・サービス・エイコー株式会社につき、当社グループ内の一層の連携を図るとともに、当社グループの経営体制の更なる強化を図るべく 2022 年 10 月 12 日に 13.2%の同社が自己株式取得を実施し当社の完全子会社となり親会社株主に帰属する当期純利益の増加要因となりましたが、経常利益の減少に伴い 90 百万円(前回発表予想比 71 百万円減)を見込んでおります。

なお、2022 年 12 月期の期末配当金につきましては、当初予想どおり 1 株当たり 18.00 円の修正はございません。

以上